



熊谷市 記者クラブ取材情報

令和元年11月26日発表
担当課:庶務課

タイトル

映画「あの日のオルガン」熊谷市上映会

- 日時 令和2年2月16日(日) 午前10時～ 午後2時～
- 場所 熊谷市立文化センター文化会館
- 事業概要
 - ・映画「あの日のオルガン」を熊谷市で上映する。
 - ・映画のストーリー
終戦前年に保育園児53名、保育士11名が東京から現在の蓮田市へ集団疎開し、困難を乗り越えてすべての幼い命を守り抜く。
 - ・上映時間
119分
 - ・入場及び席数
先着入場、定員500席、全席自由
 - ・託児所
午前10時の部のみ設置(無料、要事前予約、0歳児を除く未就学児)
 - ・鑑賞料金
前売券(12月2日～2月14日まで) 大人1100円、小中高800円
当日券 大人1500円、小中高800円
 - ・チケット販売場所
本庁舎4F庶務課、大里、妻沼、江南の各行政センター
(土、日、祝日を除く。)
 - ・チケット販売開始日
令和元年12月2日(月)
- 特徴やPRポイント
 - ・映画「あの日のオルガン」を本市で上映し、子供の命や平和の尊さについて多くの市民に伝えていく。
 - ・映画の終盤に熊谷空襲のテロップが流れます。
 - ・戸田恵梨香(NHK連続テレビ小説「スカーレット」主演)と大原櫻子がダブル主演
- その他
 - ・映画「あの日のオルガン」熊谷市上映実行委員会の主催
 - ・蓮田市、桶川市が上映済み。令和2年1月ふじみ野市が上映予定。

※ 資料の有無(**有** ・ 無)

担当者 総務部庶務課 松岡、野口、堀口
連絡先 524-1111 内線447



53
人の子どもの笑顔を守る。
それが、わたしたちの使命だった。

あの日の *Organ* オルガン



戸田恵梨香 大原櫻子

佐久間由衣 三浦透子 堀田真由 福地桃子 白石糸 奥村佳恵
萩原利久 山中崇 田畑智子 陽月華 松金よね子
林家正蔵 夏川結衣 田中直樹 橋爪功

監督・脚本：平松恵美子

原作：久保つぎこ「あの日のオルガン 疎開保育園物語」(朝日新聞出版)
音楽：村松崇継 主題歌：アン・サリー「満月の夕(2018ver.)」(ソングエクス・ジャス)
エグゼクティブプロデューサー：李鳳宇 プロデューサー：三宅はるえ 企画：鳥居明夫 李鳳宇

協賛：トラジ 東京福祉大学
後援：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 公益社団法人全国私立保育園連盟 社会福祉法人日本保育協会 全日本私立幼稚園連合会 東京都私立幼稚園連合会 全国認定こども園協会
全国公立幼稚園・こども園協会 公益社団法人全国幼児教育研究協会 一般社団法人全国保育士養成協議会 日本子ども子育て支援センター連絡協議会 公益社団法人日本仏教保育協会
全国保育団体連絡会 全国保育問題研究協議会 一般財団法人日本遺族会 日本更生保護女性連盟 全日本民主医療機関連合会 東京都品川区 東京都新宿区 埼玉県蓮田市
製作：「あの日のオルガン」製作委員会 (マンシーズエンターテインメント、ジャパン・スローシネマ・ネットワーク、中央映画貿易、朝日新聞社、インジェスター)
助成：●スローシネマ 文化庁文化芸術振興費補助金 文部科学省特別選定作品(一般劇映画/少年向き/青年向き/成人向き/家庭向き H30.11.27) 厚生労働省社会保険審議会推薦(児童福祉文化財)
配給：ジャパン・スローシネマ・ネットワーク、マンシーズエンターテインメント 2018年/119分/カラー/ビスタ/5.1ch ©2018「あの日のオルガン」製作委員会

anohi-organ.com

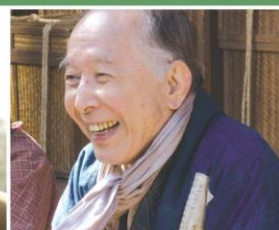


熊谷市上映会 2月16日(日) 熊谷市立文化センター文化会館

時代をつなぐ
感動の
実話



子どもたちを守るために、保育園ごと疎開させる。知られざるヒロインたちの実話を映画化!



昭和から平成。そして、新たな時代へ語り継ぎたい物語。 知られざるヒロインたちの感動の実話、遂に映画化!



怒った。泣いた。笑った。そして、生きた。

1944年の東京。20代を中心とした若手保母たちが、国の決定を待たず、日本で初めて園児を連れての集団疎開を敢行した、いわゆる「疎開保育園」の事実はあまり知られていない。これは、幾多の困難を乗り越え、託されたいのちを守りぬこうとするヒロインたちの奮闘を描いた真実の物語。大切ないのちを未来へつなぐことを願い、毎日を必死で戦った保母たち。強い信念で時代を切り拓いていった彼女たちの生き様は、時を越えて今を生きる我々を魅了し、大きな勇気と希望を与えてくれる。

主演は、目覚ましい活躍を続ける実力派女優・戸田恵梨香と、女優・歌手としてフィールドを広げる大原櫻子。また、今後の映画界を牽引する期待の新鋭俳優たちが共演し、林家正蔵、夏川結衣、田中直樹、橋爪功ら日本を代表する俳優たちが脇を固める。メガホンをとるのは『ひまわりと子犬の7日間』の監督であり、長年山田洋次監督との共同脚本、助監督を務めてきた平松恵美子。



STORY

戸越保育所の主任保母・板倉楓は、園児たちを空襲から守るため、親元から遠く離れた疎開先を模索していた。最初は反発していた親たちも、子どもだけでも生き延びて欲しいという一心で保母たちに我が子を託すことを決意。しかし、ようやく見つけた受け入れ先はボロボロの荒れ寺だった。

幼い子どもたちとの生活は問題が山積み。それでも保母たちは、子どもたちと向き合い、みっちゃん先生はオルガンを奏で、みんなを勇気づけていた。そんな願いをよそに1945年3月10日、米軍の爆撃機が東京を襲来。やがて、疎開先にも徐々に戦争の影が迫っていた――。



太平洋戦争末期、53人の子どものいのちを守った保母たちがいた。

誰もが自分のことで精一杯だった時代、彼女たちを突き動かしたものは一体なんだったのか?

あの日のオルガン

anohi-organ.com



2018年/119分/カラー/ビスタ/5.1ch © 2018「あの日のオルガン」製作委員会

映画「あの日のオルガン」熊谷市上映会

日時 令和2年 2月16日(日) 第1回目 10:00~12:00 第2回目 14:00~16:00

[上映時間119分 日本語字幕付き 各回30分前開場 先着入場(定員500席) 全席自由]

会場 熊谷市立文化センター文化会館

◎託児スペースあり(10:00の回のみ、事前予約制。0歳児を除く未就学児)

■主催 映画「あの日のオルガン」熊谷市上映実行委員会

(問合せ) 熊谷市役所庶務課 ☎048-524-1111 内線447

鑑賞料金

《前売券》 一般 1,100円
当日券 一般 1,500円
小中高生 800円

前売券 取扱所

熊谷市役所庶務課(4階)
大里・妻沼・江南行政センター